

和地ひとみレポート No.156

第4回 “うまかんべえ～祭”

回を重ねるごとに「楽しみにされるお祭り」に

■第4回 “うまかんべえ～祭”

…5月9日（土）、10日（日）の2日間、都立東大和南公園にて第4回“うまかんべえ～祭”が開催されました。この「食」をテーマにしたお祭りは、尾崎市長の1期目の所信表明の中の「夢のあるまちづくりを目指した6つの施策」の1つ目の施策「住みよい、活気のあるまちづくり」で述べられた「ウルトラCグルメの開発」に基づいて企画、実現されたお祭りです。

…年1回開催されるこのお祭りですが、第1回の来場者数は述べ約2万人。4回目を迎えた今回は、1日目はあいにくの雨混じりの天候だったにも関わらず、2日間の来場者数は速報では4万人を超えたとのこと。昨年の来場者数が述べ約3万7500人でしたので、回を重ねるごとに認知度が上がっていることが伺えます。

…また、昨年からはゴール地点をお祭り会場とした“うまかんべえ～ウォーキング”も同時開催し、参加者の層を広げる取り組みも行っています。今年も同様にウォーキングを同時開催。昨年は上北台駅をスタート地点として北上し、市の東側を回る約9.5kmのコースだったのに対し、今回はスタート地点を西武遊園地駅に変更。狭山公園、多摩湖など東大和市の自然や代表的な景観を楽しんでいただき、市の西側を南下する約8kmのコースに変更されていました。

■イベント性も向上

…今回、1番印象に残ったのが会場のレイアウトの変更でした。前回までは、裏手となってしまうブースが出たり、来場者の動線が上手に確保されていない状況がありました。しかし今年はレイアウトもスッキリし、裏手となるブースもなくスムーズな会場運営となっていました。

…また、回を重ねるごとに協賛、協力業者も増え、隣接するイトーヨーカドーさんが昨年から駐車場を提供してくれるなど、このお祭りに参加、協力することの波及効果も少しずつ認知されていると感じました。

…さらに、昨年から市民会館（ハミングホール）の指定管理者となった（株）JTBコミュニケーションズがエンターテイメント事業も手がけていることから、会場のステージプログラムも一新。市民団体のパフォーマンスも盛り上げられ、ステージ前には常に人が集まっている状況が見られました。

…会場には友好都市である喜多方市の物産展のブースも大きく設けられ、それを目当てに来場される方も。しかし残念ながら、喜多方市の農産物は未だに風評被害の影響を受けている状況です。そこで第2回から東大和市農業委員の方が喜多方市のお米の販売を手伝っています。この取り組みも3年目となった今回は、お米を楽しみに来場された方や「早く、以前のように



学校給食でも喜多方市のお米を使えるようになれば良いと思っている」というコメントをくださった方もいました。

友好都市との関係は文字通り「友好」を前提としています。困っているときは助け合うという取り組みはまさに友好の証。このイベントが友好関係を深める機会にできていることも、このお祭りの一つの意義だと感じました。

■グルメコンテストという側面は

…イベント、お祭りとして成長し、認知度も上がっている“うまかんべえ～祭”。初夏の爽やかな季節に屋外で¥100～¥300という価格で様々なアイデア料理が食べられる、そして、それを気軽に楽しく審査できるイベントとして「成功」していると思います。

…当初、市はこのお祭りを企画した趣旨を「地域住民の交流と東大和市の魅力ある食文化を活かし、地域社会を元気にすることを目標に『これぞ東大和』と呼ぶにふさわしいご当地グルメの開発に向けた食の祭典」としていました。その趣旨から、今までの回の入賞料理は市内の飲食店7店でメニューとして提供していただき、店頭には“うまかんべえ～グルメ取扱店”のノボリを掲げてもらっています。

…ところで、過去3回のグルメコンテストについては、食材などのルールはありませんでした。しかし、今回からは課題食材を設定。初の課題食材設定となる今回は「市内産小松菜」「ひがしやまと茶うどん」を課題食材としてコンテストが開催されました。

また今回は、来場者の投票によるコンテストだけでなく、グルメレポーターでタレントの彦摩呂氏と1級フードアナリストの里井真由美氏が来場し、二人が料理を審査して贈る特別賞も設けられていました。

…今回の出展チームと料理は裏の一覧表のとおりですが、今回の入賞者と特別賞のチーム4つのうち、3つがプロの料理となりました。過去の入賞者である地域グループの料理について市は「入賞した作品やレシピは、今後、『東大和市ご当地グルメ』の候補として紹介し、今後の市のイベントにも登場する予定です。また、市内飲食店へのレシピ提供等、個人、各世帯を含め広く周知を図り、市内外の方々が食することができるようPR活動を展開していきます」としています。

…今回のようにプロのメニューが多く入賞する状況が続くようならば、普及方法についても再考する必要も出てくると思います。イベントとして大成功している“うまかんべえ～祭”のグルメコンテストの位置づけについては、一度、整理をする必要があるのではないかと感じます。（裏面に続く）

個人的には地域の活性化や人と人との繋がりに寄与しているイベントとして今後も発展させ、「これぞ東大和」というグルメの開発ということより、地域の農産物や特産物の美味しさの発見という、もう少しおらかなコンテストにすることが実情に合っているのではないかと思います。そうすることで、プロのチームもアマチュアのチームも楽しんで、その趣旨に則った形

で参加できるようになるのではないのでしょうか。…先に述べたように、“うまかんべえ祭”は回を重ねるごとに進化し、愛されるものになっていると思います。今回、課題食材を設けたことを機に、地域の食材の発掘などに趣旨をシフトすることを検討していくのかどうか、今後、市に確認していきたいと思います。

■グルメコンテスト出展チーム&メニュー ※順番はパンフレット掲載順

Cotta 「こまつなと牛すじの若がえりカレー」	第一小学校前の カフェ Cotta のチーム	自慢の牛すじカレーと小松菜のコラボ
1小おやじの会 「昔懐かしい東大和ミートソース焼きそば」	第一小学校エリアを中心に活動 している一小おやじの会	昔懐かしい〇〇デパートのミートソース 焼きそばを市内地場野菜で再現
ユニオンガーデン 「茶々うどん」	東大和市駅近くの 大規模マンションのチーム	3種の野菜のあられとひき肉をビビンバ風 に混ぜて食べる茶うどん
【特別賞】ビッグボックス東大和 和食ななかまど 「大和まるごと包(パオ)スープ」	ビッグボックスで働く女性で結成 したチーム	喜多方の「潮だし」をアレンジしたスープに 小松菜餃子と茶うどんを入れたもの
東大和商工会青年部 「オコノミンSP」	商工会青年部	茶うどんと小松菜を使用したお好み焼き
頑固おやじの会 「キーマサンド」	五小、三中で活動してきた おやじの会のOBの会	小松菜と目玉焼きが入ったタコス風の キーマカレー
【優勝】中国料理 空龍 「プリモチ海老ワンタン」	東大和市駅近くの中国料理店	人気メニューの海老焼売のアンに小松菜 と茶うどんを入れた揚げワンタン
【3位】湖畔いきいきクラブ 「ひがしやまと地場野菜ヘルシーキーマカレー」	地域活性化のために湖畔地域で 活動するシニアクラブ	小松菜と地場野菜、本場のスパイスを使 ったキーマカレー
南親会 New 大和どん	南街地域で地域活性化のために 活動している団体	小松菜ごはんに唐揚げ、練り梅(南街梅) をトッピングした丼
【2位】榎本豆腐店 「小松菜おからドーナツ」	豆腐店	小松菜を練りこんだおからドーナツ
A.G.B58.8 うまかんやき	40代～60代の 元小学校のPTAつながりの チーム	東大和に昔からある小麦粉を焼いた“お やき”に小松菜、豚バラ、イカを入れて アレンジ
独身貴族 「山カレー」	東大和市出身の『農家の卵』の チーム	東大和市をイメージしたカレーに小松菜と チーズをのせて
ひがしやママと。「茶◎うどーなっつ」	幼稚園のお友達ママのチーム	お茶の香りの爽やかな茶うどんをつくった ドーナツ
国際ソロプチミスト東大和 「やまトン菜てまり」	女性の地位向上活動をする世 界的な組織の東大和支部	チーズの入った手鞠型のコロッケ
魚や 清富 「小松菜入りまぐろコロッケ」	鮮魚店	小松菜入りのまぐろコロッケ
Father's Club 「地場野菜たっぷりソース焼きそば」	仕事人間で地域に居場所がない 男性の活性化を目指すグループ	小松菜と地場野菜をたっぷり使った ソース焼きそば
ピンクラビット 「小松菜っこ」	八地区「秋まつり」に10年以上 出店している有志団体	小松菜、唐揚げ、小松菜ソースをトルティ ーヤの皮で包んで
4小おやじ本舗 「小松ちゃんのピザクレープ」	4小おやじの会の有志	小松菜、ソーセージ、オリジナルピザソー スを包んだクレープ

市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート。駅前配布するレポートは毎回、最新号です。

「私たちの身近にある市政、市議会。伝えることがスタートだと思えます。」

【プロフィール】



1970年 東京都北区生まれ。父の転勤で1歳から群馬県で育つ。幼稚園からカギっ子。リーダーシップを発揮し、小学校で児童会長、中学校でも生徒会長を務める。大好きな音楽を究めようと武蔵野音楽大学に進学、卒業。卒業後は群馬の山奥の小学校で臨時教諭として担任を2年勤め、新しい試みで授業を活性化させ「元気印の先生」として保護者・生徒から親しまれた。／「学校」の外の一般社会で挑戦しようとベンチャー企業の(株)シートゥーネットワーク(※スーパーマーケットを経営。店頭公開から一部上場、外資系企業に転換)に社長秘書として入社。のち店舗現場に異動、同社で初の女性店長となる。その後、人材開発部長を拝命。／『人を活かす』経営を学ぶため一念発起しカナダに留学。外から見た日本の将来に、漠然とした不安を感じる。帰国後は、不動産投資会社にて企画業務、税理士対応、広報などに従事。2011年4月、初当選。現在、市議会議員2期目。顔の見える議員として、日々奮闘中。

東大和市 市議会議員
和地 ひとみ

■ 連絡先 和地 ひとみ事務所 HP : <http://www.wachi1103.jp>
✉ wachi_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp 【電話・FAX】 042-516-8546
〒207-0005 東大和市高木3-274-2-102